

昭和三十六年三月十六日招集(第3号)
第一回市議定会例会々議錄

館山市第一回市議会定例会々議録(第三号)

昭和三十六年三月招集

一三月十六日(木曜日)

一議事日程(第三号)

行政一般通告質問

議案第四六号 都市計画街路事業橋梁(中芝橋)工事請負契約

締結について

議案第四七号 洗砂機・購入について

四一号 昭和三十五年去館山市才入才出追加更正予算

四二号 特別会計公益厚生才入才出追加更正予算

四三号 国民健康保険

四四号 渡左間及び加賀名地区簡易水

道才入才出追加更正予算

一法第百三十一條による出席説明員

第一日目と同じ

一本日の会議に付いた事件

議事日程と同じ

一出席議員 三二名

一欠席議員 二名

六 番 嶋 田 繁 一六番 石 井 孝

一二時ニハ分府会

議長(山本 昇) 君 本日のお席議員数三一名、これより第

一回定例会第三日の会議に附会いたします。

本日、議事は通告による行政一般質問と議題といたし

ます。なお御通知いたすに通告質問の締切り

三月十四日正午までに通告のありすに議員および順

序はお平九に配付、通りであります。

これより順序により御発言を願います。

二番議員 脇田順一君 登壇願います。

(三番議員 脇田順一君 登壇)

・三番(脇田順一君) 私案稿でしゃべります。この市長さんにも部下の作られた答弁を拝読します。ところで、農村地域に対する一片の愛憎があります。うは心のうへには、一りでも声でいって、お答え願いたいと思います。実は、今農村地域は嵐の中を巻き込まれようとしてあります。すでに嵐の中へ入りのけだといつてもよろしい。池田首相は所得倍増を申してありますけれども、それは平均の所得倍増であり、もう一つ、決して農村には所得倍増の日が来そうにも思われません。社会党などがいっている

ように直ぐ切捨て策であるかも知れない。館山市
 の平均反別を考えてみると五反足うず　五反足うず
 というと池田さん、農業人口六割切捨て論より手
 遅い。館山市の農村地区に響いてくるに違ひあり
 ません。三五ヘクタールの自主農家の規定も政府は
 強調しているようでありますが館山市の耕地面積は
 三五ヘクタールで割る、というは何割軒の自主農家が
 いることができるでありまう。恐らくは今後農村地域
 の人口というものは百姓が食うことができないでほと
 んど割以上あるいは一割が他の産業を求めて京
 都、京葉工業地帯に流れ出ることははつきりして
 あります。こういふ事態に直面して市長さんは手を
 こまぬいてくれう農村を振り捨てて都市に走る人
 下見送ろうとなさるのか、市長、施政方針演説下み

ますと新方舎もできなからうこれから五ヶ年計画の初
年に入るといふ。しかし農村地域に対して嵐の
前におびえ切っている子羊たちの指導ということは
一ミウそこに現れさせられない。市長はこうして迷える子
羊をどうして誘導していくのか。その点特に市長
の直々外へも拝聴していいものであります。

今日ほど農村は指導を求める切迫るときはありません
実際国民の食生活は米麦から肉類あるいは牛乳とい
うふうに変化をみつつあるといわれております。これ
に對して農家はこういう農業生産手段を選択してい
たういふふういろいろ指導していかなければならな
い面があると思ひます。今年の予算書下みても全く
失望せざるを得ないのであります。これはいつも
羊の如く農村向けに予算というものは大体何々協議

金 何々団体補助金も下す 奨励金も下す 報 償金も

下すといふ、たようなもので指導をそれらの団体に委

託して目から豊村にあり、て指導をたれようとす

るような至費はほとんどない 今日畜産の方に移

行しようとして豊産統計課を訪ねて詰に聞かう

畜産のことばかりかゝるのだ、それらの事務を扱ふとある

職員はありますけれども指導してもうえるという

本當に頼るにたるべき指導力をもつ職員はありません

これが現状であります、しかし今やそういう慣例的な

ことではあつたがなくなつてきてある、この際強力な

指導をもつてもうわなくてはならぬわけでありま

す、大々く指導農政に転換しなければならぬ時

にまだ同様の委託的指導へ仕方があります

これに對して私はいさゝか失望を感ずるものであります

市長はこういう考えの下に従来へまゝにしてゐられる
かその点下拝聴したいと思ひます。

それからこれは市直接のものであります。今日
館山市内にいつくかある農協の統合も農民は望ん
でおります。それに対して市長さんは幹校のほう
と、でもういたいものであります。と申しますのは
農業の協業化協同経営等がほつと管内にも
現われて参りました。が百五十万二百万という需而
資金は今、小規模農家ではどうにもならない、五万
円十万円しか借りてはくれないのだ。資金の需而
というものが協業化に伴つて農村に非常に強く叫
ばれてゐる。とあるところにサイフをばいて預金をし
ろというのが今、農協の姿であります。いねゆる
農業の近代化にとつては何の役にもたない存在と

な、く、あります。今、そ、農村が強く求めている営農指導というものがみじんもない。これ、館山市の農協も一元化するならば預金も億と越えるでしょう。大きく、な、て、そう、い、る、需、要、資、金、に、も、欠、け、る、こ、と、が、あ、る、と、思、う、
営農指導の、上、に、も、強、力、を、陣、營、が、あ、る、と、思、う、

それ、か、う、今、日、統、一、が、あ、る、に、必、要、だ、と、い、い、ま、す、こ、こ、は、今、農村地区に、あ、る、ま、し、て、は、有、線、の、一、本、化、を、強、く、希、望、して、あ、り、ま、す、。か、ゝ、は、館、野、の、百、姓、は、館、野、地、区、だ、け、に、住、ん、で、い、た、の、で、あ、る、。し、か、し、今、は、神、戸、の、百、姓、と、種、々、交、換、し、な、り、苗、々、交、換、し、な、り、農、民、が、自、分、の、交、際、の、範、圍、を、広、げ、て、こ、ろ、々、と、通、話、の、必、要、が、あ、る、と、思、う、。し、か、る、に、今、は、こ、も、あ、る、的、に、切、ら、れ、て、そ、の、地、域、し、か、有、線、は、役、に、立、た、ない、。有、線、放、送、法、に、よ、れ、ば、市、町、村、あ、る、い、は、同、一、農、協、の、地、域、内、に、あ、い、て、は、通、話、で、あ、る、規、定、に、な、つ、て、あ、り、ま、す、。

かう地域が統一されて広くなれば有線の本化ができるはずであります。こうして希望も達成されますから農協の統一も市長さんへりだして幹旋の分りもつてもういい、これに対する市長の見解如何、これが

第三点、

第三の問題は先ほども申しました通りいかにしても農村では五反歩が足りず、百姓ではみな勤め口を求めている、いわゆる月給取りの兼業者が比較的堅実であります、全く学校で卒業すると二三男はもうろく、長男すうも農村に見限り、つて都会に走、ていく、これが常態な人です。しかしながら考えてみるとそのごく少数の何べいセクトはいいのよくてはなうないのです。これらの農村で、な、ていく中堅青年も市長はどう養成していくか、今、よく、いい、たうこと、よく若い者は都会にでてしまっ

て営農は年暮りだけをやるといふ姿になると思ふのであります。先般の国勢調査の結果をみても農村人口の激減は驚くべきものがある。従つて私は農村問題解決の上からいへば小工場を誘致に熱心になつてもらうといふものであります。海岸線は龍光地域をいふ。少し奥の方は小工場を誘致に適當な場所でありまして、そういう所に工場ができれば農村の人口も減ることなく家かう通つて堅実な生活が築くことができる。館野のほととろとろでも高価な水田を埋めずとも工場地域になり得るところがあります。小まな工場ならばいろいろ立地条件としても館山市は不利ではないと思ふ。京葉工業地帯のいへば木更津市津線まで迫つてきてある。私の方はレクレエーション地帯であるとすまして農村人口をなるべく単に見送るだけはいけなしいと思

うのであります。工業地帯に属してその下請工場へ誘致に大いに努力せられまして農村人口も将来ともやいばっていく心構えがあるかどうか。以て市長さんにお伺いしたいと思います。

(田村利男君登壇)

市長(田村利男君) 脇田議員にお答え申し上げます。大変な暇にわたる農業政策につきまして、この市が無関心である見ごとく同感でございます。この市が無関心であるかといふと思われようなお言葉が、二、三ございまして、この問題は市といふことでその人の六割を占める農村に於ける指導運営補助という問題につきまして、これは常に頭を悩ましているもの、一つでございまして、もとより当初申し上げます。

三大年当初予算説明書にもあります通り農村関係

では水稲に百万円、園芸振興計画費に百四十万、酪農振興費に六百五十万、土地改良に五十八万、農業経営の近代化促進という面におきまして最大の経費と頭悩んで使っているというところまで申し上げる次第であります。いろいろ指摘されまして、農業関係の指導性を持つて、ということであります。

私は去年アメリカへ行つて参りましたときに第一の報告は農業につきまして自今自身で協業をやらなくてはならぬ、ということと、首長人に申しエグなはずであります。アメリカでは一五〇〇人の酪農家があつて、あの膨大な酪農工場を作り、そうしてバター、チーズなどもただ一人の資本家と一人の管利権取者と入らないで農夫、村の人々だけでやっている大きな工場があつたわけであり、ますますバミウ、たもの、の重要性を説いたわけであ

ございます。しかし悲しいことに館山市の酪農というものがその後皆さんの協力をできずしたがい、に集ります牛乳の量が幾らあかざしょう、こういう現状をみるときに、もっと――農民といえども酪農家といえども自分たちの生活を守るためにいろいろ被害を打ち切つて自己を営むために熱しても、もういいと考へる次第でございまして今のところはかなり悲観すべき収入状態のようでございます。こういう情勢からみましても市としては積極的にやる農民においても積極的に参加してものうまいことを私はいいわけであります。

また協業の一つの例として――いま左瀬地区に豚を飼う協業ができております。まづは、まづりたもうはあります。金を借りて豚を飼うという九人の協業ということであります。こういうことを市として積極的に

的に協力申し入りて指導して少々とも市内に一つでも
二つでも協業が起るといふ方面に力を入れてやり
たいといふのが私の原稿の生へ声でござります。

もと／＼補助金ばかりではなうまいと思ふわけをござります
が今までの日本農業を済といふものゝ大体補助金に頼り
ずゐてゐるといふ傾向をさへあらわし私はあらと思ひます。

国の補助金策は文部省厚生省等全部合せて五四〇とか
ある議員が壇でいふ、いや、たと思ひます。五〇〇以上のう
ちに四五〇は農業だけへ補助金だと指摘されまして
私の勉強へ足りなゝことと賞えてゐります。国が一番
心配——一番補助金下流して育成をはかっているのが農
業団体でありまして、本予算書下みまして、大和
合のさういふ形になつてゐる。あつたら他の業者と申しま
す。商工業者等はとうとうして市や国は農業を済にあん

に本意になるのかというふうに直接ううみとさえ述
べているわけではないです。て今までの国のやり方が喜
ぶべき現象ではないかも知れませんが、国、県、市が
あがて農業を管下重視しているかという証拠にすると思
います。今協同議員が補助金を与えようとして、
情下もてというにと指導されてあります。が、
ともな御意見でございまして、あーろ農業に對する補
助金が適当に打ち切るといふような線が新しく考へな
いといけないわけはないかと思つておられます。
市といふことは今後なるべくお役を通り農業を管
に、
事務所へ知恵を借りましてあるいはまた果の指導を
あおまきとして新しい農業、新しい園芸等に十分な指
導をやつていこうというのが私の願望でございします。

最後に農村、青年はどこへいくかというわけでございます。
まず、下請工場小規模工場に止まらず協議会の席
上でも、市というところでは何とか工場誘致の問題
も最大の関心事も、起るわけでございますが、いろん
な問題、いろいろな水の問題、おじやんになつてしまふのが
過去、例でこの問題に対する熱意は決して乏けなかつ
たりでございます。

以上三重点案稿から申しあげまして答弁といたします。
なお有線放送問題につきましては助役の係でございます。
まず、ご助役から説明させていただきます。

助役（小沢代男君）有線の点について今まで調査した過程と
申します。理況を申し上げたいと思っております。

御承知の通り有線放送は千葉県全体が日本で一歩
先に進歩した県として知られてゐるわけでございます。

本館山市におきまして、九重が最初でございまして、全
地域へ農村地帯と普及いたしまして、誠に加入者の
利益恩恵は必要なものでありまして、これを一え化
するならば神戸と豊房が通話できるといふような
結果を望むわけでございまして、私もこれとて、こ
れができるようにいろいろ研究してまいります。ま
た、若干の疑点がございます。法律によりますと、一地域に一
ヶ所という名目で成すこと。今六ヶ所です。これは個々の
地区に地域になつております。これに市に統合する
というところに疑問がございまして、しるしにこれ
をどうしても市でやるとするならば、今までの地区へ
施設を一一なく廃止しなければならぬ。そうして市が
単独で市全城を一本に統一施設をするといふことにな
ります。そこに困つた点として、九重は別でございませ

すがほかの地区は全部補助事業としてやってある。そ
うするといつていい補助金の返還の問題がでてくるので
はないかということになります大きな疑問を置きます。また
返還コースの場合に市が新しくそれをする場合にそれに
見合う以上の助成が得られるかという問題も起るわけでじ
やいます。さらに今後の維持管理につきまして送來の
農協との経済提携と申しますか、経済負担があるいはや
がて補修へ域に達してある。相当費用のかゝる事態下
か、えましてこの協定下どうするかとか、個々の問題が
ございます。一々大きな問題は今申します送來
の地区下廃止する問題が一番大きな問題に考えられ
ますのでこれらの点が鮮明になります。大分うはそう
いう線にも、ていまたいい。こういうふうな預段階とし
ては未定であります。

三委(脇田順一君)大体了解いたしました。その線に沿って御努力を願います。

議長(山本 昇君)暫時休憩いたします。

一一時五七分休憩

一時三五分再開

議長(山本 昇君)休憩前に引き続き会議を開きます。

午前中に読まう一般行政質問も行います。

一八委議員(安西政治君)登壇願います。

(安西政治君登壇)

一八委(安西政治君)本日私の特に力を入れて質問したいと思ふ事項が三つあります。この間にかかり解決されようとして重複するところもあるかと思いますが、しなう一圓

念下入れてもいいけれどもありませんので改めて
質問させていただきます。

まず、~~行~~行部に対して予算編成に御努力がなされてい
る点についてまずは一応多とするものでございます。
一、一、今の国家情勢をみますところ、しばらくは好
況という言葉によつておぼろげにうかがえるようござい
ます。一、これは工業下中心と一、ものによつて好況
というものが裏付けられているのではないかと思います。
私はさう信じてあるのでございす。バー、一、あるが
入りまして、館山市の状況はどうでございまして、うか
館山市というよりもこの好況に残されている地区とい
うか、いわゆる豊原村地帯ではないかと思ふのでござい
ます。昨年の国勢調査の結果をみますともよくわ
かるところがあります。

西岬、昭和二十九年に館山市と合併して人口六
 三〇〇〇人となり、大館山市の建設されりという大ま
 かな期待と喜びの下も、たゆみでございまして、逐年人口
 は減少してあります。それではえ自然増があつてしか
 らべしものだが、この現状をみまるとまに、今まで漁業に
 農業に従事していた若い人たちが、現実に都合へ流し
 てあります。その行方は、大まかに農業でございまして、
 今、豊田村地帯は曲り角といふ、まじやうか、まじやうかといふ
 でございまして、またその犠牲になりつゝ、あるのも館山
 市でございかと思ふ次第でございまして、一方近隣下み
 ますと、京葉工業地帯というものが造成されまして、千
 葉方面に至ると非常に活況を呈してあります。さうい
 ふ、木更津では八幡製鉄の進出というふうなことで
 知られてゐることも御存知の通りであります。

木更津は市会にあって工業面の開拓に踏み切、それは
、きりいて、いるようであります。さうにそれを中心とし
て青堀大貫地区に至るまでそれをもと、した
例えは遊樂施設観光施設等も伸びつゝあることは
仄聞するまでもなくわれわれの知つてゐる事でありま
す。工業で力説するのと申しますと川鉄がかつて千
葉にござりまして初年度まだ本場の生産の緒につか
ないときにその生産高が千葉県中の未だ生産高と
同じあり上回つてゐたということもきいてあります。
さうに工業というものの力が大きいということが
いい得ると思ひます。さういふころいつか時にか
して館山市は観えもありまうし、しかしさうい
一つの会社でさうに進出しない相当強い意志下
も、さういふと具體的に申しますと大島工業

というものが、だれの道かといふ。そうしてすでに多少
 の土地まで手をつけて進出の意志を決定してある
 ことは先ほど大島工業の社長が御意見によつて、ま
 りした次第でございますが、そのほかには大洋海底無線
 とかいう会社も当地に進出しようとしてゐるようござ
 います。これら下りもしこの機会にのびてしまふよ
 うなことがあるまい。館山市としては大まなマイナ
 スではないかと思ふのでございます。市当局にあり
 ましてはせがひでも工場誘致に市長さんの努力は
 わかつておりますが、この際誘致に対する決意という
 もの下女めてお伺いしたいと思ふ次第でございます。
 これが第一点でございます。

次に先ほど少し言及しました。次に館山市の生きた
 姿といつて、これはやはり観光ということが大問題

だと思つております。一方に工業誘致をやり一方に観
光ということは館山市の實際の地形からいいますと
当然あつてしかるべきだろうと思つております。
観光にしてもやはり大きく館山市を救う道はあると
思うのでございます。今までも観光——と非常に騒
いで言葉の上では景気がよかつたやに思つたので北条海
岸を通りましてもあるところの夏季の休業施設の
いろ／＼ものゝ風になつてゐる姿をみますと
何かさういふ気がする。でございます。せつかくの施設
ももうさう何とかならないかというところ常々考
えておりますがせめて市の財政の規模等によつて
なかく角くものではないうちのことと想像
してゐる次第でございますが公的観点から申しま
すと工業誘致と同じように観光にも直に實に力が

あり地元に恩恵を与えてくれるよう市大会社の進出が望ま—い。館山市開発のため現実に足を踏みかけているという状況ではないかと思う次第でございます。さういふ時に當りましてやけりい—て一市當局市長にありましては格段の御努力をもつて工業誘致、観光開発の面に具体的に努力していただきたいというところ、お互に同時に市長さんのそれに対する決意をお伺いしたいというのが私の須向でございます以上。

(田村利男 君 登壇)

市長(田村利男 君) 宇西議員にお答えいたします。館山市発展の方途といたしまして工業誘致と観光開発が急務であるが、これらに対して決意を固うというところであります。

将来へ館山市はあり、その土地条件から考へて—

て急激に膨大になつてまゐります。東京工業地帯その他
の大都市からの煩瑣かう逃れて明日への活動源を求め
て總々の場所を求めゐることのできる純粋なリフレシー
モンセミタとして完成させなければならぬと考へており
一例を申します。すなわち国民休暇村等の実現を期し
ていふのであります。しかし市財政に直接貢献し市
全体の福祉増進の原動力となる工業誘致も本市発展
の重要なものであります。て種々施策と並行してあつ
ゆる熱意下もつてこの誘致に努力したい。こゝう考へてい
る次第でございます。

・二番 安西政治君 あつゆる熱意とあつゆる力をもつて努力
したいと、ぜひやるといふふうにお願ひしたいと思ひます。
さうして私の市長激励の辞としたいと思ひます。

議長 山本 昇君 続いて二四番 議員 飯田義男君 登壇願ひ

ます。

(飯田義男君登壇)

三四番(飯田義男君) 私は過去七年間にわたって館山市は
やはり一つの大まな計画を立て、その計画の下に事
業を推進していかなければならぬということとす
たえず力説して参つたのであります。ようやく本
年度は今基礎調査を終つて資料が与えられま
すけれどもまだ具體的な建設計画というものが提
示されないものであります。これはもう遲きに失して
いるのではないかと私は考へるのであります。

昭和三十六年は館山市が大きく^転換しようとする新しい
出発の年であると考えらるゝのですが、いわゆる念願で
あつた庁舎の建設も完了して、いよいよ新しい館山市
の發展計画、第一年度に突入するといふ年である

わけであります。かゝりみすれば合併以来ほとんど
赤字財政の一直しに終始して参、そので市民の要求する
身近の肉題に容易に着手できず山積されて、現在
に至つております。市民はよくこれに耐え協力して下
さるゝことに對して私たちは感謝と敬意を表さなければ
ならぬと思ひます。と同時にますます我々は市当局
下中々といつて市政に研さんし市民の幸福のため
に希望ある館山市の建設に努力したいという考え
下もなづけられなければならないと思ひます。

提案された三六年度の予算案を檢討すると一億余
円の建設事業を計画しているものでありますけれども
もまだ一旧態依然の踏襲的傾向が少くないのが
残念であります。ことに館山市發展の一応基本
産業である農業漁業に對しては依然として縮花的

な補助の傾向かう脱することの出来ないままに終つて
 いるのであります。さうして農業基本法の改正に伴
 う農業経営の抜本的な政策下に行けんとする意欲が
 この予算の中に見られないのが残念であります。し
 かも予算の求めている財源のうち自主財源は全
 体のわずか四〇％に過ぎない。ほかは地方交付税
 あるいは起債等に依存してゐることとは決して将来
 館山市が健全なる財政下保つていく予算とはいへない
 のではないか、こう考えます。もし現状のまま推移す
 るとすればせつかくたゞな建設計画の推進にも重大な
 支障が起るであります。その結果はやがて市民
 の負担が増大することが憂慮されるのであります。
 そこで私は館山市建設のために求める財源下どのよう
 に確保していくかに對して市長はいろいろと考えていく

必要があるのではないかと同時に限られる財源を最も有効適切にしかも合理的に生かして使つていかなければ市政の健全を確まといふことはできないと思ふのであります。その点特に市長に積極的な施策を要望するや切なるものがあります。

私の第一点は大館山市の建設計画へ大綱を示せといふことは一応今度大きな資料をまとめて第一年度として出發するつもりですけれども、細部にわたつて次の問題について具體的な答弁をお願いしたい。まず自主財源の乏しい財政でいろいろ事業を推進するには非常に支障があるだろう。しかも、これから将来の財源を拡大伸長及び確保するのようになしてやつていくのかといふこと。

その次に建設計画を立てる上に非常に大事なことは、館

山市の各地区地帯別の地図を作りますと申しますのは
 いかに工業を誘致してもいい、ということではないしある
 いはどこでも視え地帯あるいは工業地帯、住宅地帯に
 うい、いろいろな地図を作つて適材適所な発展の
 方向に導くような地図を作りにする、というふうかと
 思うのであります。この点市長はどのように考へてお
 りぬかと

次に農業基本法が設定されたのですが当然その後
 起ってくる問題は現在のまゝ、の農業経営ではないかな
 い、協業化あるいは法人化、その他いろいろ農業地
 策へ転換がやってくると思ひます。従つて一はやく市長
 はこの問題について十分研究下さいまして館山市の
 農民がよきよりはこれについて一歩先んじてや、ていくうだ
 ろうという方向に指導していくことが必要ではないかと思ひ

うのです。この点市長の心構之下、お伺いしたいと思
います。さあ、零細農民あるいは漁民等、転業という
問題も当然起つて参ると思うのです。が、これらの転業
補導も、と前に生活指導、非常に悩んでゐる人々
が、あります。自分たちは五反しか田がないけれども
果して将来農業として立っていかれるだろうか。転業
するにはどうしたらいいだろうか。いろいろ悩み下
もつてゐる農民や漁民があるわけでありまして、
これらの人々に対してのようによい補導し、場合によつて
は転業補導もしなければならぬだろう。精神的
な援助をしてやらなくてはならぬだろうと思つて
います。市長はこういう面にも十分手を加えていって、まづと思
つてゐる。さあ、現在特に農民は、まだ、きつ
と、基本法というものが、わかつてゐない関係もある

りまうけれども不安な状態であつて將來の
 わけはどういふのだと、不安と焦燥にかうれて
 あるのですがこの肉題も市独自の立場でも得る限
 り農氏にこの実態下放せよう不安はないのだこ
 ういう方向に將來いくんだという指針を与えてやる
 とか宣伝あるいはPRしてやうといふことと考
 えるのであります。この点も將來の方針についてお聞
 かせ願ひたい。最近農氏に嫁がないうことと小
 さい肉題ではない、ないが、ろにする肉題ではない
 今後どういふ一つく、肉題について市当局は市
 の立場に立って御指導と御援助を願ひたい。
 どうか市長の御確言をしても親切な御答弁をお願い
 いたします。

(田村利男 君登壇)

市長（田村利男君）飯田議員にお答えいたします。

大館山市建設計画の大綱につきまして、目下調査を終りまして、先ほど皆さんにお示し申し上げた膨大な設計ができて、次第でございします。

これと県と事前協議に入りまして打合せができて、したうば建設五ヶ年計画の基本方針といたしまして、将来館山市の道とびき大きな道を作る考えでございします。本市の生産性、向ふとか雇用の拡大と、いっ面で躍進的な発展は、今こゝで急に遂げることとは望めませんことは、すでに皆さん御承知の通りでございます。しかしながら、私は先ほど申しました通りありあゆる点にありあゆる機会をつかまして、目下日本全体に及びまして積極的に増進していく決意をもつて、いく次第でございします。

第一点についてであります。財政の拡大伸張及び確保の奨励——ということはいは、これも建設計画について十分検討してございしますが、いずれ御審議願う段階となるわけでございます。市財政の拡大伸張ということはいは、結局は市税の伸張いかんによるわけであります。で、現状で推移するといふよりも、国民経済の全般的成長に依り、相当程度の伸張は期待できるわけでありますが、こゝで躍進的増強を望むのはやはり現次に於いてはくどいようです。ですが、無理でありまして、こゝに大規模企業の誘致また大規模な観光施設誘致ということと下ともに並行して行なうければ、絶体にはいけません。と、げうれなわけでございます。しつぱら、現在大島工業といふ、海底無線の会社といふ、直ちにあるの目、かう個々の会社が出来るわけ

でもありませんのでこの計画が具体化するまでの間に
国、県の補助金及び起債の獲得にさうに一段の努力
をいづらうして積極的に財政の拡大を期したい、
こういう所存でございます

建設計画の地図を書けと　　よし、ともな言葉でござ
います　　市におきましては次に申し上げます地域
一応計画いづらうしてこれから総合的な検討を加え
て図面、調整を行なうていまい、　　かように考え
ているわけでありまして現在全館山市で飛行機
上からみまうて一周四方の大館山市写真が三日後
に完成する事になります、この写真に適当
な補設をほどこし、ましてどこで誰がみてもわかりや
すい大館山市の地図の完成が間近であることと申
し上げられるわけであります、　　観光地帯といまう

ては国定公園に指定されよう。地域下主といふ。主としてその周辺も含んだ区域で観光地帯として自然の风光の維持と理地に適合して施設下し、
 その区域は船形岸の視音、那古山の地域、
 海岸の一带、洲の跡より而沼における海岸、布良町
 より自津に至る海岸一带と、
 る段取りになつていふわけでございます。

工業地帯といふ。これは交通の便と云ふは区域下必要と思ひますので考へられます。区域は多士デーセルを中心といふ。それと上にあがります。平久里川流域。さうに必要があれば北の方に延ばしていきなさい。さうに今問題になつております。波左内地に神戸地区の一带も、に補足していきなさいと思ふわけでございます。

住宅地帯といふことは、理石の住宅地周辺に含め
て、新堀場及び各地にあるわけですが、これらも
また、定着地区及び工場誘致に伴いまして、その
付近に住宅増加を考慮して計画をたて、いく
考へておられます。

また、漁業地帯といふことは、第三種漁港の船形
港、第二種の高崎港、館山港、第一種、波左間港
ほか、一港を中心として海岸及び陸上船揚げ施設を
含めた地域、このように考えております。

果樹園芸地帯といふことは、大砂平の神奈岡町、藤
原、青岡、東部地区の山本、稲宝、貝大井、北部地区の
正木川名という地区、これが約四五、町数で予定して
おります。

又、花う地帯といふことは、西岬の西部及び南部

神戶より布沼に至る地已にこれらは大体六。所が下
計画してあります。以てこのような計画ができて
さうに費用のかゝることをごやいます。が鳥瞰模
と申します。がこれらもなお考慮する余地があるか
知れませんが、これらもつけ加えてあります。

農業基本法の問題ですが、これはまだ決定して
ません。しかし大体自民党原案の農業基本法とい
うもの下で一通り勉強いたしまして、まだ、ま
わりません。し、覚えられない新しい法律でありま
す。で、こゝでよく申しと、格ることは、さうい
いと思ひます。が要するにその内容下一口にい
え、法律の目的といつて、農業生産下他産業と
比較して、さうして遜色のない水準にその生産性
向上を、同じようなレベルに達するようになら

これが農業基本法の本旨であります。さうにその基本法のもう一つの目的は、これに従事いたしまする従事者の生活、他産業と同じ生活水準に向とさせることとなければならぬというものがこの基本法へうたゝてゐる二つの眼目のようでございます。

そういうことでいろいろ中には生産の合理化、農業規模の拡大、農業経営の近代化、特に協業という言葉が用ゐられてゐるが、これが目的ではなくして、それを行ふためには農業協業化ということとでなければならぬ。先ほども申しあげました通り、私は協業化を市民に求めておりまして、どうか市民が協業して、もう一人一人が利益することとでなく、全体が農業法人、あるいは農業組合というふうなものが、下作さうう説得してまゐりてございします。農業従事者はなか

なか私ハ初めに従、てくれないううらみても、ている
 ものでございます。 館山市におきましても農業に
 従事している人々が、あすの生活にも固るというこゝとも
 實際いわれているわけでございます。で、これから農
 業従事者と市ともどもにこの向題にぶつか、ていま
 らいと考えてゐるわけでございます。 以上そういう
 目的に對する市長の信念を申し上げて答弁といはります。
 〇三四番 飯田義男 君 これハ主管課長でも結構ですが、今
 後五ヶ年間、賦課の件張パーセンテージ下どの程度
 見積、て計画されてゐるか、これが第一点
 次に起債下、相当本年より、は予算に計とてございま
 すけれども、その五ヶ年間、建設計画下、遂行する上、に
 どの程度、起債下、計画なさ、てあるか、この点、一つ
 それから市税の徴収、いられる賦課方法、でございますが、

依然として現状のまま、で推移するかこの点について
御答弁願います。

総務課長（山口実君）第一点の将来五ヶ年にわたる財政の
拡大状況でございますが、一応基本計画における
見積り方といつて、一として現状において確定に入
てくると、こういう点に観点をおきまして計
て関係上現状でいましてと市税というものはあ
多く見込まない。さらに大企業が入るべくればこれは
必然的に増加されます。

もう一点、起債はその年次にきりまして、通財事業
というものを確認するわけでございます。一応この
基本計画については最後の年あたりには、北条小学校
の建設というものが現われて、大きな起債を求める
ように考えております。

市長(田村利男君)市税の将来の方針はどうするかというのとでございます。現在「オプシヨニ」の方法によりまして徴税は行つております。一市におきまして大体上このやえてハツ位の市は依然として「オプシヨニ」を行つております。あとの一市は「オプシヨニ」を実行してゐます。そういうわけでありまして果にいつて必ずしも「オプシヨニ」を固執しない方がよいのではないかと、いうことも考えております。しかし私現在としては将来はどう心境へ変化があるかも知れませんが、税額による「オプシヨニ」をとつていまいと考へております。又お来年からはあるいは法律の改正になつて「オプシヨニ」を実行しなければいけないという法律改正がありまして、ときにはその方針を変える予定でござい
ます。

。二四番（飯田義男君）課長さんの答弁ではちよつと数字的
にわかりにくいのですが例えは税の自然増が本年よりは
何パーセントあつたか今年五ヶ年間の伸張率は毎年何
パーセント位自然増として見込まれる、こういう数字
とお伺ひしたか、そのです、これは又あとでお伺ひい
たします、市長さんにもう一つお伺ひしたいことは
農業基本法の改正によつて非常に農民は何も知
らなく不安を感じてゐる、従つてこれらの人々との
不安を除くために一例をあげらうばこれを補道
相談する窓口として市に作るような御意思があるかど
うか、あるいは座談会等によつて積極的にこの不安と
いうものを下より除く機会を將來や、ていられるかとい
うかこれについて一つ、

それかう基本法は、より一て農業基本法を推進していく

ということばかりにまよつてある地区では協業化に
まよつて、ある場合市長さんはそれに積極的
働きかけであるいはモデル地区として設定するとかそれ
に対する補助援助をするとかそういう具体的なお考之
をもつてゐるかこれについてお答を願います。

市長(田村利男君)私は協業化の千葉県の南初だということと自
負してゐります。まゝこれにつまづいて干乳の問題脈
の問題さういふような問題には積極的に指導もしまた
戦政的にも利子補給とかの面において考慮したい。この
ように考えてゐります。また那石船形をいまして農
村に回つて私の信念を吐露する機会をなるべく多く作
りたいと考えてゐります。農畜統計課においててもそ
のようは計画を常に書いてあるわけではございません。
窓口相談所というふうなものは直ちに今のことろある一

室を設けて作ることは考えてあります。せんけいれどもすべて
農業のことは農林課へくれればわかる。またいつく
の——話——合——場合には助役も相手になる
し市長もあっているわけでございます。そしてガラスをと
り除いて農民に接しているたいというのが私の信念でござ
います。

・二四番(飯田義男君) 大伴市長さんの気持はわかりました。が
広報とか何うかの方法で市民に訪れる方法を考えて
いたと思います。その点はとうです。が
市長(田村利男君) 先ほどくわしく申しましたか、たのですが
計画があるという方はその意味をいさいます。

・二四番(飯田義男君) 了解——です。

・議長(山本 昇 君) 二四番議員江田徳太郎君御登壇願います。

(江田徳太郎君登壇)

○四番江田徳太郎君は第一に遊園地下何ヶ所を造成し
 子供の生命安全下ばかりたいと思つたためにこの設置
 方下提申するものであります。

今交通の老疾なことは御承知の通りであります。自
 動車の量車の増加に伴う事故は日増に増加する
 一才であります。一才子供は本寺に遊ぶ場所がない為
 に路工で遊ぶことは当然ムうれると思ひます。一人
 大サが下すれば市といつても本寺に申しわ
 けまいように考へるものであります。なぜかうは遊
 園地そのものがいい。これは市として当然とるべきも
 の下とていいまいというようにも思ひれます。であ
 りますのでどうしても遊園地下何ヶ所を作つてもう
 たい。案心して遊べるということが見受けられない
 ということ下考へますにこいう施設下作、とい

たゞまゐい、新聞紙上でもこういうものと書いて
出してありますのは、これは何であるかというところ
の生命安全を作るためによつてあると思ひます。
そういう観点からいへば、――そして今回の予算には遊
園地設置はひてあります。――そして、土地の問題も
これには多量の問題もあるでしょう、土地の問題も
あるでしょうが、私は今回ぜひ作つていきたいと思います
所がございます。これは私の近所に一〇〇〇坪ばかりあ
る名士の土地が五、六畝あるところであります。こうい
うところは本市の市街地でありまして、いゝところでは
ないかと思ひます。そのために私は今回市営とい
つて、――してやるか、――か、お伺いしたいものであり
ます。

次に第一といつて、――そして、中小企業、商工業育成のため

商工會議所補助令の大幅増額を提案するものである。今までの市の商工會議所に対する補助令の額は五十万という何パーセントに達する人などという令であると思ひます。私は商工業者に対する本市の熱意が少く、かけがえのないものは、いかんと思ふ。今大觀念都市、菊房総国定公園指定地として発展途上にある本市では商工業者の発展が急務であると思ふのであります。そういう時に商工業者は現状では果外とは競争に及ぶまい、農業にしても水産加工にしても市の育成がいまのところないと思ふのであります。発展をなく果外にするものは、会社自体が現在やっております。私費をもつて宣伝並みにいろいろの面を運営してやっております。こういう時に市は、年一額五十万円に達しているにすぎない。今商工會議所会員は九九名とあり、全部の商工業者を集めると

＝。名だそうです。が、会費制を以て会費が多くて比自に入らなくはない。入れば会費だけと云れて何の役もしていない。なぜかと申しますと、会議所に金がないからやれないと思ひます。今日の予算をみましますと、小規模の普及員への補助金五十万円があります。今まで二人であつた普及員が三人にする意味で五十ということですが、五十万で市全体の業者の育成にしようといつてもやれない。お当り前でありまして、これは育成にはかることは本市の財政にも相当収入増になると思ひます。どうか補助金の大幅引き上げを願うものであります。

次に水道局に対してする市当局の今後の見通しに、差に措置を下りようかと云つてゐるが、伺ひたい。

現在工業場敷ありは、一承処理等の問題が起つて、下

りますすがこれについても必ず水が対象になります。
 大まかところは自家用水等や、ていりすすば小工業者
 であつては水道会社から給水というてや、てある。
 いつ日照りかきて困つて大騒ぎをするといふことも現
 在にありす。昨年、例をみますれば、^木騒動を起
 すところでありました。また宮城水道は昨年、新南を
 みると九月まで赤信号であつた。これに対して市当局
 は何の手しようもないやうに考へる。

農村においては丸山中矢がみでよく大変うるやうと
 思ひますが一軒にはまだ遠いことでありす。であります
 したのでせいの、際一大事業でありますし、この水道
 に対する準備態勢が下つていたゞゞてい、何年か、
 るかわけりません。がこれはどうしてもやつていたゞけ
 ればならぬと思ひます。どうか市当局はこの態勢

とて本格的に市営し市自体でやれるような水道をやつておけいと思つてめいに市営するにお願いするものであります。ぜひ又御回答を願います。

(田村利男君登壇)

市長(田村利男君)お答えいたします。

遊園地と申しますのも公園計画法によりまする遊園地と福祉事務所の関係します遊園地と二種類あるわけござつたに大々な公園は別といつておそろく江田議員のおっしゃることはこの程のことだと思ひます。それについて申しますのは市民の健康を保持するとともに都市居住者全般の運動、散歩などの用に供したい念願のもとに市といつては北条海岸、世耕休憩所の設置といつてあります。又三五年におきましては洲の浜公園^市を築くため、居並台

ぞ。他は属建物、設置下はかゝてあります。特に見
 童の遊ぶ等下主眠といへます。児童公園につま
 しては都市計画事業として計画されてあります。
 児童公園の面積は、ニヘクタールすなわち六〇坪だけ
 いけないうという標準に達してありますので土地の入手が
 なかく困難でございます。一昨年中村席一郎氏の
 御好意によりまして、中村児童公園の設置下みたけ
 るでございます。さうに今後館山海岸あそこに大
 体四〇〇坪位の地所がございます。さうに船形の根岸
 海岸にもう一つ入午の目鼻がついてある地所ござい
 ます。こういうことでありますので、国庫補助の確定
 次第着工して児童の遊ぶ場としての安全性下はありま
 い。こゝように考えてあります。また福祉事務所関係の遊ぶ場と
 いふしましては、これほどの面積は必要としないう。たゞ神社

ります。實際問題として商工會議所への直接の事務
 資的補助下も、とすればい、わけをいいます。
 今、ところその程まで、で善処するといふ
 方針下と、でありますので御了承願います。

最後に水道の問題です。工業用水の問題につき
 ても非常に頭を悩ましてゐるわけで大津無線の
 場合にもききても一五・トニ以上の水が毎日あるとい
 うことだ、で、ついであります。この会社のいふには決し
 て水道会社の水はいらないのだ。冷やす水で用が足りる
 のだ、というところ、であります。その問題についてもすで
 ちなくともい、わけです。その問題についてもすでに
 にある地帯に水状況の検査に着手してあります。
 というわけです。手ごたは、い、てあるといふわけ
 にはないこと、であらうので申しあげます。

次に市営水道は官城、南条の水源地下利用して、館
山地区、南条地区の一部に供給していることは御承知のこ
とと存じます。この移設物は旧海軍の移設を終戦に
伴いまして従業員とともに市に委託されたわけであ
ります。この物件、借入れにつきましては、関東財勢
局に手続き中でありますが、近く許可あり見込みであ
ります。例えは、わかれへ便してある水道は、関財局か
ら^貸出すという許可もなければ、館山市が買うという許可も
きてはいけません。という場合は、関財局のものとして
預ってある。従って水道料金というものはとれないわけ
であります。水道料金に変わるべき水道料金とい
うような形で、非合法的な名前ではありませんが、関財局
の水道を市に委託されているという点と、下の点の、際特に
明うのりしてつけ加えておきます。なお本移設は海

軍専用水道であつた關係で施設の水道管の埋設及び貯水量に限りがありましたので供給の拡大は現在望めない状態にあります。かういふ關係の水道が改められて市に供へられるとします。市に売られてくれば、かといふ場合になります。これは、さうに積極的に市に於いて拡大、設備の充実をはかるといふことは考えられるわけでございます。

水道事業は市民の日常生活に欠くことのできないものである。そして公共的性質のものでもあります。かういふ市営によりを営むところの必要として考えられているわけであります。さういふ點から見て、日常生活は井戸水に、思ふに及んでいけません。日常生活は井戸水によつてのみまかなわれているのであります。近き将来に於いて十分考慮し、なされるべき問題だと考え

ております。例えは簡易水道とか、いろいろ問題があり
ます。但し今のところ確たる計画がないことと、甚だ残念
でございます。すべし、陳申し上げてお答えいたします。す
でございいます。

二四番（江田徳太郎君）……市長さんの答に對して、ミ
お願ひ……まいと思ひます。

第一に遊園地の問題で土地がなかなか入手できないとい
うお話しでございまして、先ほど申しましたように市
街地に……。坪内りの土地が七八年放置してあり
ます。これは何とかお話し合ひて置る、こう思うので市も
お考え下さい。……線に沿ってお話し願ひたい。
商工會議所の問題で今、ご細みおえるとか、こうだと
いうことはできないと思ひます。但し今後十分御考慮
下さい。……商工業の育成にお力かけたいと思ひます。

「下水道の問題はつうき——でも各市では相当活発にやっております。本市においても十分御考慮下さるようお願いします——と御旨伺下参ります。」

議長（山本 昇）「君」以上でも、通告箇所を終ります。こゝ際会議日程についてお諮りいたします。

本日の議事は行政一般通告箇所とシ、マ干ります。本日議事の手許に送付のあります——議案第四六号、第四七号及び未提出であります——議案第四一号及び乃至第四四号昭和三十五年第一般会計及び特別会計追加更正予算と本日、日程に追加し直ちに議題といたします。と思ひます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（山本 昇）「君」御異議了——と認めます。

よ、て日程は追加され了——た。

暫日休總いります

三時 休總

三時 二。分再開

議長（山本 昇）君休總前ハリマ続マ合議ト用マます。

議案第四十六号ト上程いります。

（書記 朗 読）

議案第四十六号 都市計画街路事業橋梁（中芝橋）工事請負契約の締結について

建設課長（新井重助）君議案第四十六号について申し述べます。

都市計画街路事業として現在平之里川の河口口に館山大橋ト架設してございます。この手前ハ旧池貝工場の中心ハ小さい川がございます。これに架設いっ

またつが、に提案いさし、中芝橋の工事、こ
いま、こは、五、三、幅一メートル、鉄筋コン
クリートで作り、て定通、をけ、り、まいと考えて、
り、入れ、つ、ては、館山工業株式会社、安
藤建設、山崎工務店、高木工務店、大滝工務店の五社
で選定、い、て、入れ、ま、ろ、安藤建設
株式会社、百二十五万五千円で落札と、り、
こ、と契約、い、て、工事の完成、を、け、り、まいと考
えて、り、

議長(山本 早) 議案第四六号 討論者 畠山 通 次
定、に、御異議あり、せんか。

(「異議ナシ」と呼ぶ者あり)

議長(山本 早) 御異議ナシと認め、

よ、て、本案は、原案通り、決、ま、り、

議長(山本 昇君) 続いて議案第四十七号

(書目 記 朗 読)

議案第四十七号 洗砂機の購入について

建設課長(新井重助君) 四十七号議案について御説明申し上げます

館山市の水道でございまして、現在濾過池が二つございまして、夏季にござりますと水の使用料が多々場合に、これは、トント越すという状況でございまして、それにつきますと、この沈殿の砂下濾過する砂下一ヶ月に二回ほど洗わなくてはならない、これは二つございまして、この四回洗わなくてはならないというので、現在やっておりますが、この砂下洗うの、人夫下かりまして、水栓手を入れてやりまして、一つ洗うのに五日ほどかかります、こういう状態でございまして、この洗砂機を四回お

うということに踏み切つてわけでございます。

従来通りに洗つて取り出すと約九〇トニ位の水が必要に付る。この洗砂機を使うと四〇トニ位でいい。それと
とち人夫の必要がなくなつてきます。今固これを買
購入——す——て労力・節約と水の節約をしていく。
こついうことでこの機械を購入していいと考へてお願
いする次第でございます。

・議長 山本 早一君 本来は討論者畧 本来通り決定いたしま
す。御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

・議長 山本 早一君 御異議ございませんか。

よつて本来は本来通り決定いたしまし。

・議長 山本 早一君 続いて議案第四一号乃至四四号一括工程

いへます

(書記朗読)

議案第四一号 昭和三十五年の館山市入支出追加更正予算

・ 四二号

特別会計公益質屋入支出追加更

正予算

議案第四三号 昭和三十五年の館山市特別会計国民健康保険入支出

追加更正予算

議案第四四号 昭和三十五年の館山市特別会計波佐間及び加賀各地に

簡易水道入支出追加更正予算

総務課長山口 実君 議案第四一号支出から御説明申しとげます

第一款議会費十二万三千円追加 これは三月い、ばい、に、

要と思われ、ます、振、費、食、糧、費、交、際、費、の、要、額、合

計十二万三千円お願、い、する、も、で、ご、や、い、ます、

次に市役所費で三万九千五百円、これは云報費にあ、る

きいて広報の印刷費不足分三万五千円と住民登録に
関する賃金の不足一万四千五百円をお願いするもので
ございます。

次に消防費で十万円お願いいたします。これは現
在使用してありますベリー子が古くなって使用に
耐えないので今週新しく原動機付自転車を購入し
ようとするものでございます。消防団費は今の
項内の流用でござります。

庶務課長（鶴沢貫覚君）第七款教育費におきまして四十一万
五千四百円追加いたします。

委員金員におきまして賃金三万九千四百円更正いた
します。これは補助の関係で中学校の管理の賃金に
細み替えなわけでございます。その他の費目はそれ
必要を費不足いたしまして他の方で更正いた

わけでございます。

小学校費におきまして三十五万三千三百円追加いたしますが需用費においては学校で流用予定のものとして取りましてそれと今回更正するようになっています。

管理費において工事請負費で三十万円追加いたします。これは三六年おき神戸小学校の洲の宮分校が本校に統合いたしますので分校でも、ある器具その他を入れる物置と本校において保健室を三坪増築したいというための費用でございます。

中学校費で六万九千五百円追加でございますが需用費においてやはり学校で流用予定のものとして取りまして更正いたします。管理費の賃金四万六千八百円建築士雇料と委員会費の更正によるものであります。高等学校費におきましてはそれらの必要の費目下

更正していただく必要があります。

幼稚園も同様でございます。

以下公民館費、青年学級図書館、社会教育、体育費等それぞれ必要を費下更正していただく必要があります。

この中で青年学級へ備品費、手紙編機へ購入費でございます。また、体育費の消耗品一万五千円、体育大会賞品代とござりますが、これは修武館へ剣道大会へ賞品代でございます。以上でございます。

厚生課長伊藤幸太郎君第九款保健衛生費でございます。今回追加が七十三万三千円でござります。この主なものは予防接種費において五十三万三千円、今回小児マヒの予防注射の実施でございます。この小児マヒにつきましては、ごく最近新しく予防接種法が改正されています。ほうそうと同じように定期的に義務づけようという

ようはこじになつてゐます下けれどもその間、臨時措置といつて――そして本年、昭和三十四年七月から三十五年の六月末までに生れた子供に對して義務的に小児マヒの注射を実施するという暫定措置に基きまして、費用をさします。

隔離病舎費におきまして備品費の四十万は自動車購入費でござります。これは患者の輸送用として適当な車を購入いたします。なお患者の輸送用で、よく予防注射の実施祭壇、運搬等にご利用いたします。して活用はかゝりまゐるということでございます。以下各節で整備いたします。これが財源の一部に充てたいということでございます。御了承願います。

・農産統計課長(吉田耕一君)：款を農業経済費について御後以申し上げます。

今回九十二万四千四百月の追加更正でございまして、このうち農林関係で農林費にふくまれている九万三千七百十月への追加。この支出については三三節の採取組合への負担金一万五千八百十月、これは採種面積の増大に伴います。果の指示に基きまして不足額を計といたしまして、

次の園芸振興と優良種苗の導入補助として神戸地区に果等の助成にふくまれている追加の計といたした。

次に農業振興費でやはり三三節におきまして十二万四千月余計といたしまして、これは沼山治水協会の負担金でございまして現在実施してあります神戸、西岬の砂防館山の防風林そのほかもう一つ所も含めまして、保安林へ改良事業を実施する関係で果の協会負担金というもので追加をお願いするものでございまして、

次に土地改良費の三三節で七万五千月、これは昨年の

八月災害によりまして畑、林道、災害復旧が果が認め
まして、その果の助成をとりとみまして追加いたそうと
するものであります。総額が二十八万三千余月でございます
ます。この賦課というものでござります。歳入に果の補助金を入
れまして不足額を各項目で減額更正いたしまして
賦課に充ちたいと考えております。以上でございます
ます。

・商工水産課長(羽山房雄君)七歳水産費について御説明申し上げ
ます。

今回総額六十五万六千五百五十円、追加で主としてこれは
三三節の負担金補助及び交付金でございます。
本年主水産事業というもので相浜漁協で岩礁に
おとりをして、のと西川名漁協で魚床の設置とい
うこと、この事業に対する経費の補助金、それ

それ事業費に對す三分の二の補助金を計とし、その
 相共金が二十万円、西川名分が二十五万円、それらう小型
 漁船の近代化の利子補給でございまして、これは果
 補助率二割六分で計算、さうして該當いたります
 へが船形漁協にございまして六千八百八十円の利子に
 する補助金千六百五十円でございまして、

その香通協の補助金といつて二十万円をお願いい
 たりまして、これは防波堤上にございまして荷さばり
 場、貯蔵庫が去る災害で屋根を相當いたしまして
 のでこの修理が大體七十一万か、りますので二十万の
 補助金をお出しなにと考えて提案した次第でございまして、
 次に八項補充費で今回消耗品費にございまして十四万
 七千円をお願いいたしまして、これは今月いっぱいで
 き上る予定、館山大橋の完成記念といつて

マツチト作。て市内ハタバコ業者ト通トて一般に提
供。てい。ミウ考えて提案して次第でございます
院務課長（山口 実君）二款財産費の積金について説明
いたします。

三十六万計といつて。これは市条例による里見
城復元の積金でございまして今回三十六万追加い
まして五丁万月下積金として計上しようとする
ものでござります。

選管書記長大島重義君三款選挙員について申し上げます。
今回五万七千二百円へ追加更正でござります。これは先
般行いまして衆議院へ選挙におきまして国のすかう
選挙費用につきまして追加整を行つた。その結
果追加分として五万七千二百円参入したのでその金額下
各節に計上してござりますので付託によつて御了承

願います。

六項の参議院選挙費は項内の流用でございります。

税務第一課長代理(蜂谷達三君)一五款諸支出金の徴税費に
ついて御説明いたします。

四節の旅費九節の賃金及び印刷製本費において二万
八千二十月の不足を生ずることにござります。たので
それ下報酬旅費負担金補助及び交付金かうそれぞ
れ賃金に七万五千円更正いたします。と思ひますので
よろしくお願ひいたします。

総務課長(山口実君)新市町村建設事務費について御説明申
します。

今回六万二百万のお願ひをいたしました。これは千葉で担
当者が審査を受けりる予定の必要額一万七千三百円
今回印刷しますと計画書の印刷費にまいります。

七項繰出金については百二十万追加いたしました。

これは特別会計公益質屋、七十万 国民健康保険、
五十万計といっております。

なお今四、追加額四百三十七万四千四百六十円

を出合計三億八千三百十五万四千四百一十七円

次に方入に移ります。

三款地方交付税で八千八百一十九万円と決定されて

二ので一六今四、百六十一万一千円計といっております。

次に四款公営企業及び財産収入で今四、厚生課でも、

とあります。トラックを売却するとのこととでこの見積金

額物件売却代金として十万円計といっております。

次に国庫支出金で九百八十七万八千七百円計といっております。

これは教育補助金、選挙委託金、おのゝ国庫から補助

の内容があり、とて計に入っております。

八款果支出金七十九万三千五百五十円計云々
これは保健衛生費 産業全済費 教育補助金として果
から指示のあつたもの下計云々
九款果は今十九万九千六百十円は清掃費へ取扱ひ費
用下一志果は今一と扱つてゐる関係云々
一と云々

一一款雑収入三十一万五千円
これは実費徴収金として
小児マヒ予防注射を受けたる人から徴収する金額を
いふ

次に市債百万円教育債といふ
これは中核舎へ増築費に
充てようとするものであります

又今回の追加額四百二万七千四百六十円

又入合計三億八千三百十五万四千四百十七円

又ハ支出差引ミ残金ナリ。以テであります。

・厚生課長(伊藤幸太郎君)特別会計公益貨屋でございます。
バ当初予定――に収入が最近非常に減少してござ
いますので一般会計より七十万繰り入れていただきます。
そして調整はしようとするものでございます。
又出において旅費その他に若干の不足がございます。
ので追加いたします。

・保険課長(神作啓次郎君)四三号議案について御説明申し
上げます。

事業勘定ハ支出一歳没所費旅費で一十月お願いの
にござります。保険給付費療養給付費で二百五十六
万三千三百円お願いのにござります。この内訳は一九節ハ
手数料で五万七千六百円、これは当初一件当りの実
査手数料が三月であつたのが本年途中途八月におい

て手教科へ値を引かせるに三月六十支と
いうことで不足をトとので一六・〇件に分てお願
いたわけでございます。三二節へ負担金補助及び
交付金二百六十万三千円お願いたす。これは
一般診療へ報酬でございます。三四節他会計の操
作は豊彦診療所へ繰入れし更正いたす。こ
ろ二十万三千八百円減額したわけでございます。
三三節へ負担金補助及び交付金で十六万六千五百円
お願いたす。これは療養費の扱ひ分不足
にあらうと思つて追加いたす。

へ款子備費十三万七千七百円お願いたす。
歳出合計二百七十九万五千円でございます。

歳入第五款国库支出金一項国库負担金事務費
担金十五万四千円お願いたす。これは三四年

まへ事務負担金の追加交付額でございます。二節
過半主分の負担金で二百十六万七千円計でございます。
まへにございれども療養給付費へ三四年交へ追加交付
額でございます。

第三項の交付金調整交付金で四十七万四千円お願
いいたす。まへに調整交付金は三五年主に齒
科補てつ下実施した場合の国の補助金でございます。
ます。お入合計は百七十九万五千円。

次に直営診療施設勘定について申し上げます。
各健康保険への診療報酬更正額はすべて患者が当初
見込んでより少なかつたことが大きな原因であらう
と思ひます。今回一般会計から五十万繰入れて診
療所の運営下回りと考えられているわけでございます。
ます。よろしくお願いたします。

厚生課長(伊藤幸太郎) 君特別会計水道でございす。

旅費以下それトハ貴目にあさすト多クハ不足
ト生じます。で工事請負費ハ関係一万九千五百
円更正。ク。トてその賦課とい。ク。トわケでござい
ます。 合計百二十四万五千百円ハ予算でござい
ます。 議長(山本 昇) 君以エて該。ト終ります。
暫時休憩。ク。トす。

四 時 休 憩

四 時 一 五 分 再 開

議長(山本 昇) 君休憩前に引。テ。該。キ。会。議。ト。開。キ。マ
す。

四議案に付。マ。ス。第。一。案。に。付。テ。決。議。ス。マ。ス。

三四番(松本)藤太郎君九款需用費の中で患者輸送用
の自動車中古四十万という事です。これは厚生
課に所属してゐるのです。が患者輸送用といふ
と現在消防署にあります。救急連絡車に改めるも
ないのである。この点でちよつとお尋ねいたす。

一、款積金三十六万円あります。がちよつと四年
かゝつてこの三十六万下入れ利息をふれてようやく
二百五十万位じゃないかと考へます。がこの点につい
てちよつとそれるかも知れませんがこの機会に市長
さんにお尋ねしたいことは四年もかゝつてこういうこ
とでは何もできない。現在市として外資の導入
というところが一応議会として打ち出されてあります。
また我々も期待してあります。が相当日数も経過し
ております。現在どのようなふうになってゐるか。積みに関

運してお尋ねいたします。

次の十五款の取扱費ですが、今まで種々の事は、収受という一たのです。これに對して謝礼金ということは特別なものであるが、今でもこういうことをやっておくかどうか、以上三點についてお尋ねいたします。

厚生課長（伊藤藤幸太郎君）患者輸送車の問題でございますが、現在消防署にございます救急者とは別に考えさせていただきます。伝染病患者の輸送につきましては消防署の救急車に利用させていたこともございまして、また現在厚生課の所管になつております清掃用、車で便宜や、ということもございまして、いずれにしても、少しでも件数は年内にくり下かごをいすすけれども、早急の場合がございまして、何とか患者輸送車として便するものがせむけいという考えでお

つたわけでございます。それと同時に祭壇の運搬
とか予防注射の実施に市内を回りまゐる場合の自動
車とかいうものもございまして、この際悪者輸送
車というものと主眼にいたしまして今申しさうござい
ます。ような厚生課の仕事のあつゆる面を活用していま
さい。それかうも一つ隔離病舎費の中に自動車
を置くことによりまして、燃料費その他につまみま
して補助金の対象というところもございまして、その
ような面も含めまして悪者輸送車として、この
計とさせていただきますというわけでございますので御
了承願います。

市長(田村利男君) 城山の肉題でございますが、これは市と
いって、さうして、すでに二百萬貯金したと云ふなるわ
けであくまで市の補充財源とはいへ、城山というものを

は全額市の費用でやるべきものではないうという信念の下に例之市城山を市営自の立場で作るにしようとして市が三分の一あるいは四分の一位の補助をせよとして市民の人の多数の人の事は金によつてこれが完成してみたい。当初申し上げに通りでございましてその信念は変りございしません。その間において京成会社が千葉県南房州地方への観光事業をもちこちと存在する観光事業とあいまして城山を作るというものであればぜひ協力したい。こういう申し入れがあれば先般御報告した通りでございましてまた白浜地区の観光施設洲崎地区の旅館あるいはホテル場の問題にいたしまして足踏み状態でありましてこの際城山を特別に早くやるということも困難であるという話合いがあり

まして今しばらく京成の様子下みてなおい八日京
成側とこの問題について懇談する計画になつてある
ことと申し上げまして城山のことは仰了承願します
次に報償費は修武館のことだと思ひますがこの建
物は講談社の剣道場であつたものゝ勝浦付近の
ある村から那古寺の付近に引越してきてゐるが約十
四、五年前 その當時の関係者が市に売却したいと
いう申し出がありましてそれで最後の武道大会
とやるために二十万円 それから今まで負債を生じて
いる金が五十万円 この五十万円であつたものの借金を返
して二十万円で武道大会をやりたい、かういう交渉が
あつたわけですがこの七万円のうちの二十万円という
要するに予算へお一方の都合で社会教育の体育
費からとつておいたといふことになっています

三四番(松本・藤太郎君)厚生課に車を所屬させておく、
 こう考へます。そうしますとお説のようには患者輸送
 用といつても厚生課にある以上、今いわれる祭壇を運
 ぶとか、予防接種に使うとか、そういうことが大部分で
 ある。こう解釈します。これも必要です。いけないと
 は申しませんが、今市民が一委員としてあるのは救急
 の場合にすぐ使える救急車現在消防署にあるので
 すが、この金をなぜ必要とするにあらはめないのか、
 この金で買ふなければもうすぐふやしても本當の救
 急車を消防署へ置いてもらいたい。祭壇を運ぶの
 びう今消防署にあるのでいい、やり方は逆である
 と思ふ。そういうことを私あまり賛成じゃありません。
 この問題に早急に来月かうするべきで、来
 月おにはぜひ救急車を備へつけてや、ていふことを

い。これと特に申して下さいます。

それから積立金でございますがこれは一日に特別に
るそうですがそういうことでやりさらに新年まの
向題にもなりますのでそれにやります。

謝礼でございますが私は特別であるのか、今までも
や、てお、それがこう伺ったのです。しかし確答が
得られませんので一回伺いたい。

市長田村利男君これとはや、違いますが「善導館」あれ
が当時へ予算で五十万で悪い言葉ですが、み金で
向うの理事者に謝礼したとありますが、

そういうことで修武館といえくについてはいろく費
用がいろいろというところで七万円に値切って落ち着
いた前例はあることはあるわけでございます。

二。養（教）生田七郎君市長さんに伺います。今回一般会

計で約四百萬 四三号議案を二百八十万と追加と
 してはかり大なる予算ができた、これはもちろん一年
 間の繰り出しでバラニスル合せる意味でやむを得
 ないと思ひ、ていふ言ひが、突然会期末と申しますか
 こういふ大なる種目が突然会期末と申ししますか
 本年の予算はあと一五日しかありません、もちろん
 今会計内覧でみれば五月でしようが一応一五日間
 にこれを便うというわけですが、早くこういうい
 う内容がわかるとあうなかと、要するにせ
 ばつまり、ていふ今下出すということでは、
 不手際ではなかつたか、というところが、結論すれば
 この予算は便いされるかどうか、あるいは従来し
 ゃう、例があつたごとくすべくもう便つた金ある
 いは換約して金であるけれども市会にけ金ですのだ

従来の弊習そのものをや、と恐れがあるやに解釈
できるのです。が、そういふことは絶対ないかどうか。

もう一つは先ほど課長から説明がありまして、豊房
診療所は患者が思うようにこなないために五十万の赤
字をせりと相なるのであります。もう五十万一般会計
から助成せざるを得ないという事実。市長さんお医
者さんであります。かう六ヶ村合併によつて継承され
た事業であります。従つてすみやかに健全な独
算刊に基いて立派な病院にしたいであつて、市民に与
える道義的敷責任があると思ひます。五十万の助
成を機会に市長さんから御答弁を願ひしたいと思ひ
てあります。

市長（岡村利男君）豊房診療所の問題でございますが、
過去一年間にあります。赤字が五十万誠に申し

認めない次第でございます。市立あるいは公営の
 診療所におきまして私を知っている限りすでに
 赤字あるいは欠損で全部廃止になつてゐる状態に
 ございます。これは公営診療所の経営が必ずか
 しいか、医者への入手に困難であるかということが
 多くを認められるわけでございまして今後館山
 市が豊房診療所を守つて豊房地区だけが無医
 村の状態に不均衡を救うためにはどうしても
 赤字というものは覚悟しなければいけないとい
 うことはあつた。あつた。考へてゐるわけでござい
 ます。しつぱな方からいへば今豊房診療所の状態が果して
 いふか悪いのかということとは確かに悪い点が多
 ございまして、いつかの議会で申し立てに通り今後
 豊房役場が完全に必要な方になつたときに役場

建物に引越して明るいやりい、医者のおみよい診療
療にーとい、できれば来年交当りにこいを実施
ーといと考えておるわけでご存じます。

次に予算の問題で追加予算に何百万も計入する
ということは無計画ではなかというところありでござい
ますが大体果の補助の決定などもごく最近決定した
ことが多々ありまして決して無計画にやっているとわけ
ではあります。またあと十五日で予算不執行の
ま、ミウいう予算下です。ではなにかというところ
ありでございます。ま、全部必ず執行しなけ
ればいけない予算でございますので課長に命い
ましてその執行を確実に行うように督促するつもり
でございます。

二、養護生田七郎君了解いたす。厚生課長さん

に伺います。小児マヒの子算が計とされてゐるので
すが五十四万八千円で何人に注射とする予定であるか
この問題では、新聞にも報じられ非常に関心を
もつております。今大阪で血清をとりていない
という話です。千葉県は検定に合格していい
外国のと便してゐる。果して安心できるものと注射
するのか、一時的な不安がある。市民が安心できる
ような態度で施行する確信ありや否やということ
に御答弁願ひたい。

○厚生課長伊藤幸太郎君 小児マヒ注射の問題でござい
ますが、今までも希望者が非常に多過ぎました。で
ワクチコの入手不能で止む所です。ただ、最近厚生省において
かつたのでございします。し、最近厚生省において
国産ワクチコの製造に力をつけてや、見通しが

ついて本年主中に先ほど申しました年令の方に約
九。万人程交のワケチニてもちまして全国的に実施す
るという方針が決定いたしました。保健所を通じまし
ていろいろの実施要領が指示されたわけでございます。
今國暫定措置といつては三四年七月一日生れから三五
年六月末までの生れた子供さん、市内で約八〇〇人の方
たちに保健所の指示によつて薬品を贈入し、お医者さん
に委託して実施の完全を期して参りたいと考
薬品のワケチにつましてても保健所の配給指令に基き
まして薬品を使用いたします。また実施に当ります
ても保健所の指示に従ひましてやりたいと思つておりま
すのでその御心配はなないと思つてますので御安心願いてい
というのと申しあげてお答えしたいと思います。

議長(山本 昇(君)) 先ほど三四番議員へ質問中救急車の

件について答弁下さいという申し出がありまして、この
これに對して答弁を求めます。

市長(田村利男君)救急車に對してどのように考えているかと
の御質問でございますが、救急業務と消防の行方な
くは、さうないという法的根拠はさうないのござい
ます。だが、人肉愛に燃えた消防の救急業務を広く
活躍して市民の信頼と感謝をもつておこなうべ
い。現在の状況におきまして、救急連絡車が御
指摘の通り必要を叫ばれている現在におきまして
こそ、今の救急連絡車が痛みを感ずる参りました
ことも事実でございます。さういうわけで、市と
して、まず、買入れまして、広報車に救急装備をす
べく、広報車の利用状況と消防署の救急連絡車の
出動状況とを比較検討いたしまして、現在の状

態では消防署を使うよりも広報活動として使用する
状態が多くなりますために広報車に特に救急業務
も兼務させるといふことは非常に困難なわけござい
ます。従いまして私の考之といふ――これは広報車
は広報車だけの業務に――あけて来^手交におきま
して救急車そのもの、用に供すべく市民の感謝をもつて
あつてえうけています消防自動車の救急車下法
の如何にかゝわります新設――といふ考之といふわけござ
います。

三四番（松本藤太郎君）法的に云々といふことですが、そうい
うことと別に私聞いておつたわけではない、そうい
うことと下ぬまゝして作るといふことで了解いたし
ます。せいの新年までにおいて市長さんのおしやる通
り早速に使つて市民に感謝されるようにしたい。

だまされたいと思ひます。

二五五 鈴木市蔵君 厚生課長さんに伺ひます。四十万で
購入するといふことですが、これはもちろん中古だと
思う。館山市は昔かういふ^中古が好まれて困つてゐる。
そこで今回も中古さんですが、新車と中古とを検討し
て予算を盛つたか、この点で伺つてみたいと思ふ。

厚生課長（伊藤幸太郎君） 買つていへば、私どもの方
といへば、それはもちろん新しいものといふ意味持
は十分あるわけですが、やはりこれは金の向
題でございまして、で、新車という財政的な裏付
けがありません。かういふ私の方といへば、それは四十
万の範囲で、かかるべき適当なもの下備へたいと考
えてお願ひしたわけですが、

二五五 鈴木市蔵君 四十万で中古を買つたとさうな。要

議員の質問にあつて通り予算が残り、なかう無理にこの予算で使つてしまふという考へ方でもつていいか、私はそう考へるので、この四十万のとこにあと五十万をせば立派な車が買へる。古物を買つて現在の救急車へように患者をのせていふ、車の中が寒くたべれぬと患者輸送用自動車です、かう患者にあつて影響を与へず、^{病院}までつれていゝてはじめて市当局の気持がわかると思ふのであります。今いゝ通り十五日までは当初予算に織り込んで新車購入ができると思ひますが、一つの予算はやめてもう、て当初予算に計入して新車を買う気持があるかないか、それかうも一つ祭壇を運ぶとか、そういうものは今の救急車でいいと思ふかうなれば一つ変更してみ

る考えは正しいが、この点下同てみたいと思ひます。
 厚生課長(伊藤幸太郎君)説明の前に関連して取りま
 すので、ちよつと申して置かせていただきます。

先づとも議案の最後へ中に十万円の大形トラック
 貨物自動車、の売却代金を計上してあります。
 それは現在中形への自動車、いわゆる清掃車を三
 台もつて取りまして、大形のトラックを一台、これは
 建設課へうまいでいて、私の方へ所管に移
 して現在あるわけでございます。祭壇を運ぶと
 か緊急な予防注射せうい、な場合に今までは中
 形の^清掃車を臨時に使つておつたわけでございます。
 す、そうすると清掃車三台のうち一台をそのよう
 な面に割合に多く使つてありますと、当然それに
 伴ひまして、時間的にいいましても、また人夫の方

体買えるのではないかという見通しもございまして、
のでこの範囲の額を計上していただいておりますので
ございまして

○三五番 鈴木市蔵 君 それなう東用車的なものでなく
現在ハゴミ下集めしているような車ですか、

○厚生課長(伊藤幸太郎 君) 現在ハ広報車のような形のものでござい
ます、しわーミヤミミが東用車的なではない、そうでござい
ます

○三五番 鈴木市蔵 君 この車を四丁車で買った場合に責任下
るてますか、一二年修理をせうに使えるような車下
購入できますか、

○厚生課長(伊藤幸太郎 君) 二年間なう二年間絶対に修理下
せうにすむということは私素人でございまして、では
、さういふことは申しあげかねるわけでございまして、け

けれどもござるだけそういって品物を選定いたして
て大事に使、ていまして、また購入につぎつぎとほ
私だけでよくやり、肉係の経験のある方たちにも一
みでいって協議の要するべくい、車を買っていいこ
うというふうな気持ちであるわけでございます。

一三番（黒川佐太郎君）肉運賃向ですが大体三五番議員三四
番議員の御質問で私のいれんとするところはつぎで、
まずがス、今の救急車並に患者輸送の自動車では
ございませんが、ことに救急車においては重傷あるいは
重体の患者を輸送するのでござります。人の命を
あずかるのですから万一途中で故障が起ころという
こと、また振動がけがりにくく、また、
ういう観点から申しまして大事な車でござります。
でその点十分御考慮の上購入するよう特に希切を

一 創山市議会

申しあげております。

三六番(鴻貫壮作君)国民健康保険のところでお尋ねします。すべ十五万四千円二百十六万七千円が過半交付ということですが、一体この金はいつ交付になるのか、でございますか。保険課長(神作啓次郎君)通知書でも、ご参りますのでしなうく御猶予願います。

議長(山本 早君)暫時休憩いたします。

五時 休憩

五時 分 再開

議長(山本 早君)休憩前に引き続き会議を開きます。

先ほど三六番議員に対する回答を求めます。

保険課長(神作啓次郎君)これが入った日は一月二日になっております。

ます。

三六番（鴻貫壮作君）実はこの問題は五月三十一日をもって決算されるはずではないか、こう思っているのが、本年支末にまでいるかう変だと思つてお伺いしたわけですが、他意がある、大わけではありません。従つてその間に議会の開かれていると思ひますが、さういふときはまだつとりあえず予算の更正なりなんなりしていただきますと、嚴格にいうと、議会とはおのづかといふことになりまして、これはお互いに困る問題です、かうさういふことのさいように御注意を申しあげます。

三七番（脇田順一君）公益債償還についてお尋ねいたします。特別会計と一般会計、かうヤチ万繰りつれた、さうして課長さんの説明によりますと、この利用者も少なくて収益がさ、ぱりよくないというお言葉でありますが、

常に一般会計から繰入れということは常則であり
 ませんで唯々採算科目にある程を保つていくことは理
 の当然であります。これについて一言管理課長と
 して貸屋の経営についてどうお考えなうてあるか
 千葉の貸屋さんの統計をみますと貸入れする者の
 七五％は夕方五時から七時までに入れるようであ
 ります。ところが公益貸屋では九時開店で五時閉店
 であります。一季入れにくくなる時には店が閉る
 時間とずらして開いておくことはできないものだろ
 うか。干煎中についていかに一時間開店七時まで
 営業下すれば一季お客さんの出入りする時に受け入れ
 ることができろと思ひます。私が常務にいますと時
 に貸屋さんにくるお客さんは特定の貸屋通いにおは
 ぬ人がある。その人はいくらか手数料で入

れるというふうな姿だということ。私がかつて聞いた
ことがある。そう一点。あるいは賃下減す処分方法
について、でも処分は事理的である。処分の時期とか
処分の値下高くするとか、そういうふうな点と下との際
とくと御研究がなければ足らない。——で繰入れる必要
がなくなるんじゃないか。もっとも公益賃屋は全国的に再
検討しなければならぬ。——各管が困難になるというこ
は日本全国の姿でそうであります。しかし個々の土地
に適合したように各管面に検討を加えてやります。こ
うは公益賃屋の公共面と各管面というのがマッチして皆
なにも利用して大々補てんするにすぎないです。おと思ひます。
各管課長はそういう研究下しようという熱があるかど
うか。お答之願います。

厚生課長(伊藤幸太郎君) 時間、問題であります。けれども

確かにそういう面もあるのではなかろうかと考へます。
 しかし、今の場合でござりますとやはり館山市の職員で
 ござりますので一応勤務条件等にも関係してございま
 すので条例等を検討してござります。その様な問題も考
 えて参る事が順序かと考へるわけでござります。
 今後どういふのお話で承つておきますかと十分研究させ
 ていただきますと思ひます。

こゝで三ッ里川佐太郎君でございます。お話で高砂質屋の入
 賃が非常に少ないということですが、実は先だつて質屋の
 主佐とやつてある者に渡る質屋の賃が暴落する
 だろうとさう尋ねたところ、さうじゃないんだ、もう入
 づく、質屋が少なくなつて暇な人だ、さういうことと
 いふのです。すが私自分の無知を恥じたわけですが、事実
 そうであるのかどうか、課長の答へを求めます。

厚生課長(伊藤幸太郎君)先ほど和予算のときに申しエグ

マ一と点は当初予算に細めてありマ一と見込まれ

マ一といわゆる入貨件数 これに對します利用收入、

それに比べマ一と最近非常に少なくなつたというふうな

気持ちでお答エーたようなわけでございます。その実

情につきマ一とはやはり地域によりマ一といろくにと

事情が異なると思ひます。くわーい件数等につき

マ一とは遺憾ながら平元にも、マ一マせんのでは

マ一申しエグられマせんけれどもそういふ面もある

いは相当あるのではなかろうかと考えてあります。

ニ番(四中祿郎君)教育費の青年學級についてお尋ねい

ます。

三万二千円の補助金が入つてありますが大體三五年度で

もつて補助が総額どの位までありますか、これを下

調べ願います。青年学級への補助金の対象になる

ものはどういうものであるか。

もう一つ四月一日から洲の宮分校が廃止になります。

これに伴ってあそこを幼稚園とやらにするが、幼

稚園も廃校になって本校にやりますのか、それから

分校下廃止した場合建物はどう処理されるのか。

これについても伺います。

庶務課長 鶴沢貫寛君 回答いたします。

青年学級の補助金でございますが一学級三万円で

四学級分、当初予算で四万八千円計としてございま

す。で今圓はその不足分三万二千円計としてございま

す。いから神子幼稚園でございしますがやはり小学校

と同じように本校の方に統合いたします。現在分校

に便してあります建物は今のところ何に使用するか

というは、まじりことはまじり、まじりません。

ニニ委田中祿郎君分枝の廢止に伴い、こゝの建物の
処理方法下せひとも早くお考之下さるよう御希望申
し上げます。

議長(山本 昇) 議案第四一号乃至議案第四四号原案
通り決定いたすに御異議ありませんか。

(「異議ござい」と呼ぶ者あり)

議長(山本 昇) 御異議ございと認めます。

よって原案通り決定いたすに。

以上で本日、日程全部終了いたすに。

次回は明十七日午前十時開会といたします。

その議事は議案第三四号乃至三九号昭和三十六年
一般会計及び特別会計予算案に關する質疑といた
す、こゝにて本日の議は散会といたします。

干後五時二五分散會

